



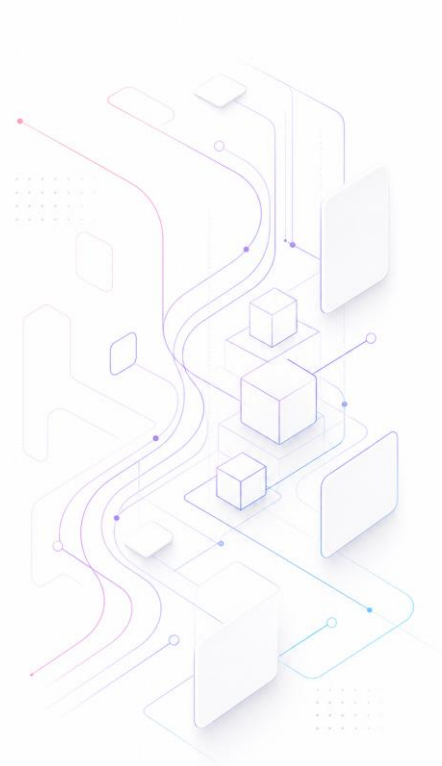
会社紹介資料 / COMPANY PROFILE

INDEX

- 01. 会社概要
- 02. 私たちが実現したいこと
- 03. 事業領域
- 04. 私たちの注力領域
- 05. IT支援市場の構造と支援の空白
- 06. 私たちのポジショニング
- 07. ご支援形態
- 08. ご支援の進め方
- 09. よくある課題感・テーマ
- 10. 支援シナリオ
- 11. 代表者紹介
- 12. お問い合わせ

中堅・中小企業を中心に、 AI・DX推進を構想から実装・定着まで伴走する会社

会社名	MOC Labs合同会社（エムオーシーラボ）
設 立	2025年11月6日
代表者	大川 雅也
所在地	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目10番8号 渋谷道玄坂東急ビル 2F-C
資本金	1,000,000円
事業内容	システム開発・業務効率化 IT コンサルティング AI 活用支援・研修セミナー Web 開発・保守サポート 中小企業向け IT 導入支援



Mission / Vision / Value

Mission ミッション

デジタルを、価値ある力へ。

Vision ビジョン

あらゆる企業がデジタルの力を
成果につなげられる社会をつくる。

Value バリュー

本質の構造を見抜く

情報の雑音を削ぎ落とし、課題
の核を抽出する。

誰もが扱える
仕組みへ整える

複雑さを整理し、
シンプルで再現性のある構造
へ変換する。

動くだけでなく、
使われるところまで届ける

現場に馴染み、日常の業務に自然と溶
け込むまで伴走する。



3つの領域を横断し、構想策定から実装・定着化まで、お客様の課題解決に伴走します。

Transform



AI Transformation

AI導入・業務実装支援

AI活用方針の整理から、PoC・業務実装・運用定着まで、実務に根ざしたAI導入を支援します。

Strategy



Technology Consulting

ITコンサルティング・業務改善支援

現状業務や課題を構造化し、ITを活用した業務改善・システム導入の方向性を具体化します。

Build



System Development

システム開発&Web開発支援

業務システム、Webサービス、社内ツールの開発から、保守・運用改善まで柔軟に対応します。



中堅・中小企業、成長企業のIT活用における課題を整理し、成果につながる形で実装・定着まで支援します。



なにから始めるべきか
整理したい



業務課題を要件に
落とし込みたい



システム化の方向性を
具体化したい

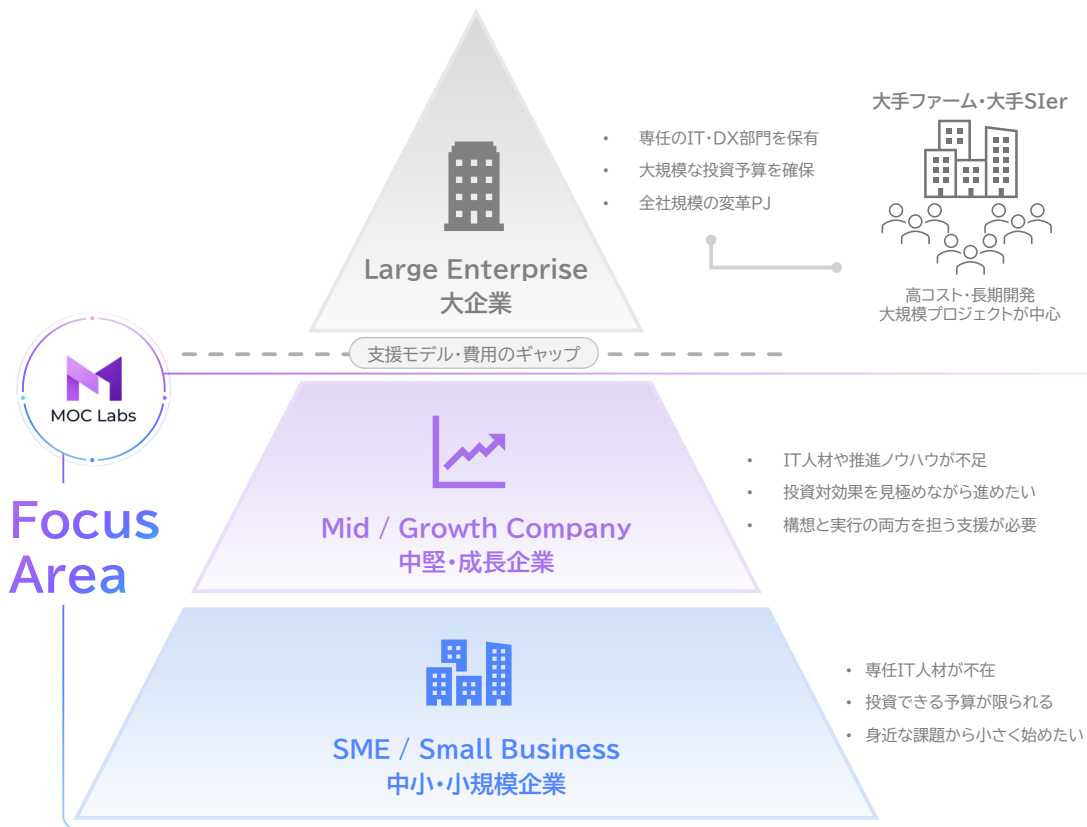


まずは小さく作って
検証したい



MOC Labsは、その間に入り、
課題整理から実装・定着までを
現実的な形で伴走します。

IT人材や予算が限られる中堅・中小企業、成長企業に向けて、構想から実装・定着までを一気通貫で支援します。



大手支援では規模・費用が合わない

大手ファームや大手SIerの支援は、大規模・長期プロジェクトが中心。身近なIT課題には、支援規模や費用が合わないことがあります。

自社だけでは推進人材が足りない

専任IT人材やプロジェクト経験が不足し、課題整理やベンダー選定、導入推進を社内だけで担うことが困難です。

部分的な支援では成果につながりにくい

相談、要件定義、開発が分断されると、構想が実装につながらず、導入した仕組みも現場に定着しにくくなります。

その間を担う、実装型ITパートナー

必要な規模と予算に合わせて、課題整理から実装・定着まで柔軟に伴走します。

中堅・中小・成長企業に必要な「身近さ」と「実行力」を両立し、構想から実装・定着まで伴走します。

「大手に頼むほどではない」が、社内だけでは前に進まない。

中堅・中小・成長企業では、IT人材や予算が限られる一方、解決すべき業務課題は数多く存在します。

大手の支援では規模や費用が合わず、部分的な外注だけでは、課題整理から実装・定着までをつなげることができません。

MOC Labsは、経営と現場の間に立ち、必要なところから小さく着手。

構想、要件定義、実装、定着までを一貫して支援します。

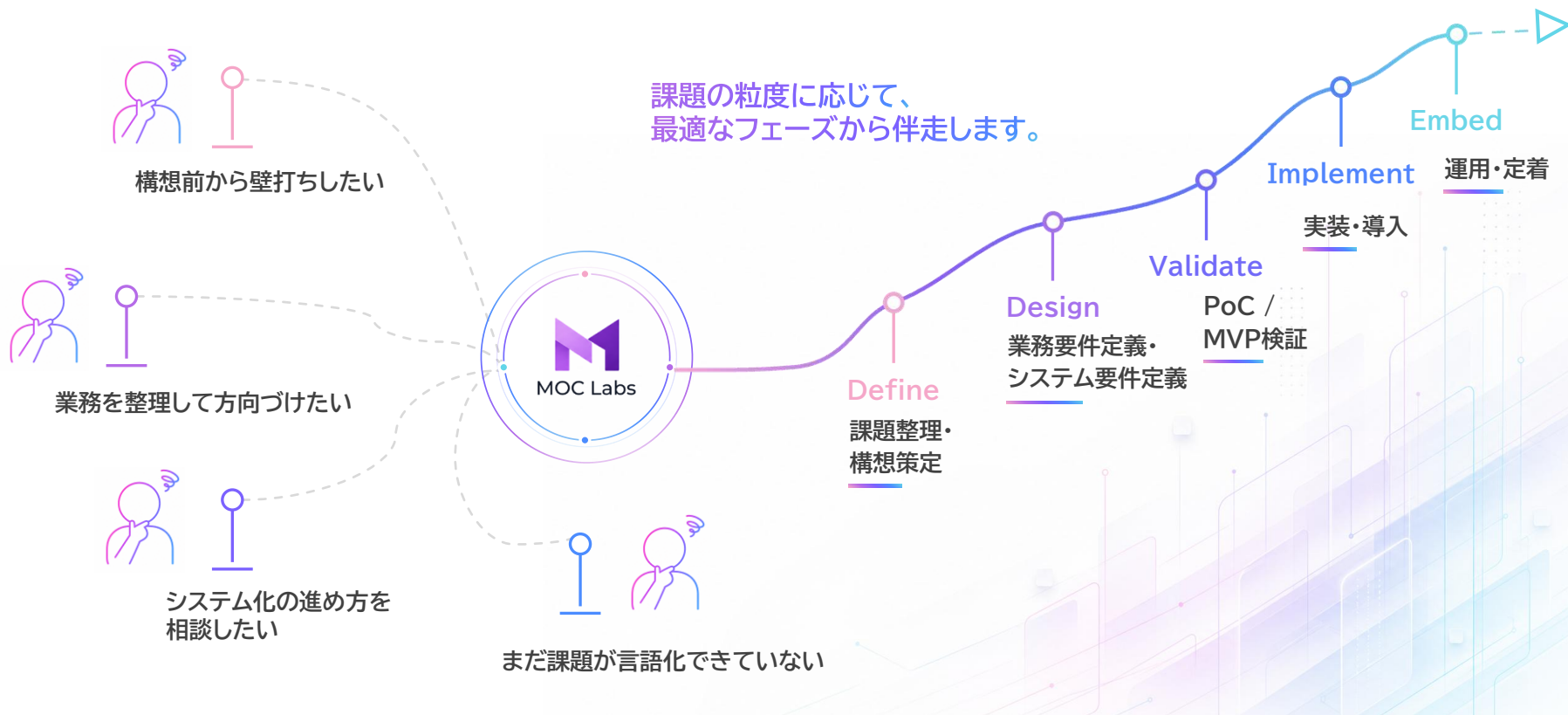


相談役、伴走支援、推進支援、開発支援まで、課題の状態に応じた形で柔軟にご支援します。



課題感やご要望に応じて、柔軟に最適な形でご支援いたします。

構想前の壁打ちから要件定義、検証、実装、運用定着まで、必要なフェーズから参画します。



Common Challenges

データ活用

- ・分散した社内データを統合・活用したい
- ・データを活用した意思決定の仕組みを整えたい

AI・ナレッジ

- ・AIを業務に取り入れたいが、使いどころがわからない
- ・AI活用の方針や優先順位を整理したい
- ・社内に散在するナレッジを整理・検索できるようにしたい
- ・問い合わせ対応や社内FAQを効率化したい

業務プロセス

- ・Excel・手作業中心の業務を効率化したい
- ・手作業の転記・集計・確認作業を減らしたい
- ・属人化している業務を標準化したい
- ・部門ごとに異なる業務ルールを整理したい

システム改善

- ・既存システムの使い勝手を改善したい
- ・小規模な業務アプリ・社内ツールを作りたい
- ・システム化すべき業務と、現状維持すべき業務を見極めたい

IT企画

- ・ベンダー提案の妥当性を判断したい
- ・IT投資の優先順位を整理したい
- ・要件が曖昧な段階から相談したい

推進・定着

- ・システム導入後の現場定着を進めたい
- ・社内にIT・DXについて相談できる相手がほしい

経営企画

- ・データに基づく意思決定を強化したい
- ・KPIや業績データが見える化したい
- ・部門横断の課題を整理したい

営業

- ・顧客情報・商談情報を可視化したい
- ・案件管理や見込み管理を効率化したい
- ・提案・見積・契約までの流れを整えたい

マーケティング

- ・Web・問い合わせデータを施策改善に活かしたい

管理部

- ・顧客接点や流入経路を整理したい
- ・集計・確認・承認業務を効率化したい
- ・請求・契約・入金管理を整えたい

人事・採用

- ・応募者対応や選考管理を効率化したい
- ・社内FAQや問い合わせ対応を仕組み化したい

CS

- ・FAQやナレッジを整備したい

情シス

- ・要件整理・ベンダー管理を支援してほしい
- ・既存システムの改善方針を整理したい

現場部門

- ・紙・Excel・属人運用を見直したい
- ・日報・進捗・作業管理を効率化したい
- ・現場で使われるツールに改善したい

Function Theme

Industry Theme

製造

- ・生産・在庫・品質データを改善活動に活かしたい
- ・現場帳票や検査記録をデジタル化したい
- ・設備・作業・品質情報を一元管理したい

建設

- ・案件・物件・顧客情報を一元管理したい
- ・見積・契約・請求の流れを整えたい

小売・EC

- ・販売・顧客・在庫データを販促に活かしたい
- ・顧客対応や購入履歴を活用したい

士業・専門

- ・案件進捗や対応状況を管理したい
- ・定型書類や確認業務を効率化したい

医療・介護

- ・記録・請求・業務管理の負担を軽減したい
- ・予約・問い合わせ対応を効率化したい

教育

- ・受講者情報・教材・運営業務を効率化したい
- ・教材やナレッジを整理・再利用したい

農業

- ・作業記録・収穫・出荷情報を一元管理したい
- ・販売・在庫・受発注管理を効率化したい

物流・倉庫

- ・入出荷・在庫・配送状況を見える化したい
- ・紙やExcel中心の現場管理を効率化したい
- ・拠点間の情報共有をスムーズにしたい

どんな些細なお悩みからでも構いません。

複数のシステムやExcelに分散したデータを統合し、経営・事業判断に活用できる可視化基盤を構築します。

散在するデータを、 判断に使える情報へ。



よくある課題

分散データにより、全体像が見えない

CRM、基幹システム、Excelなどに分散した情報。手作業に依存する集計・突合と、タイムリーな状況把握の難しさ。



解決アプローチ

判断に使える形へ、データを一元化

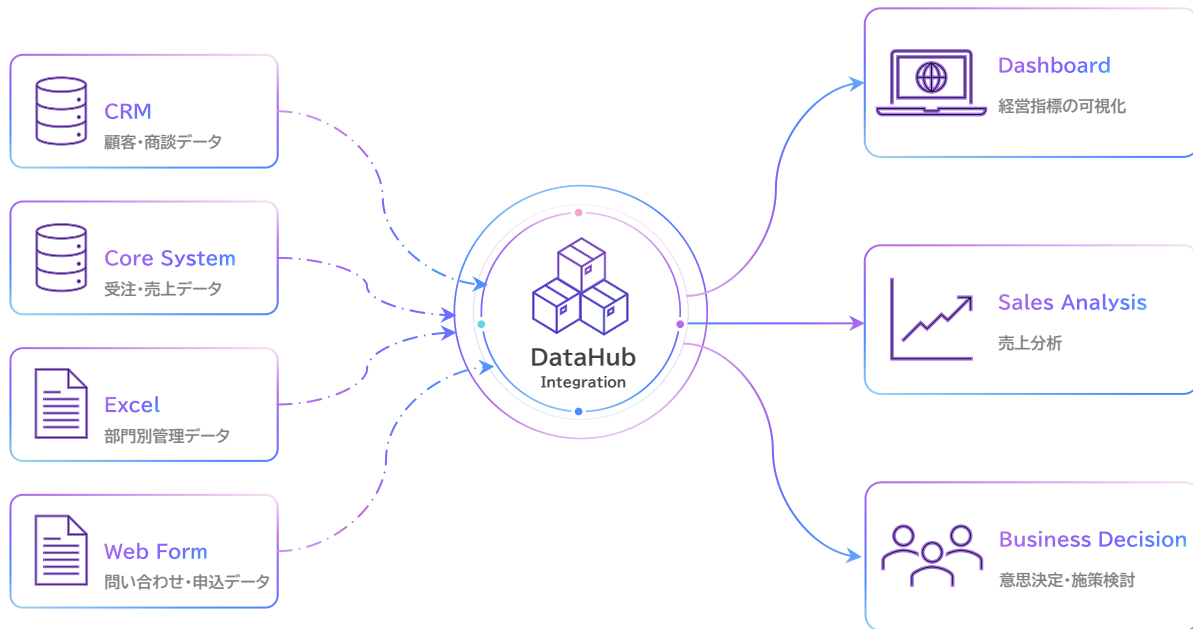
各システムからのデータ収集と、表記・コード・集計単位の標準化。分析・可視化に適した形式への整形・蓄積。



期待される効果

最新データに基づく、迅速な意思決定

集計・転記作業の削減と、数値のずれ・更新漏れの抑制。ダッシュボードを通じた業績・傾向のタイムリーな把握。



集計時間とミスを削減し、最新データから素早く判断できる業務へ。

社内に散在するマニュアルや問い合わせ履歴を集約し、必要な情報へ素早く到達できるAI検索・FAQ環境を支援します。

埋もれた社内ナレッジを、 すぐに使える回答へ。



よくある課題

必要な情報が見つからず、問い合わせが集中

マニュアル、社内FAQ、過去の問い合わせ履歴、部門資料などに分散するナレッジ。情報検索の負担と、回答品質の担当者依存。



解決アプローチ

社内ナレッジを集約し、AIで検索・回答

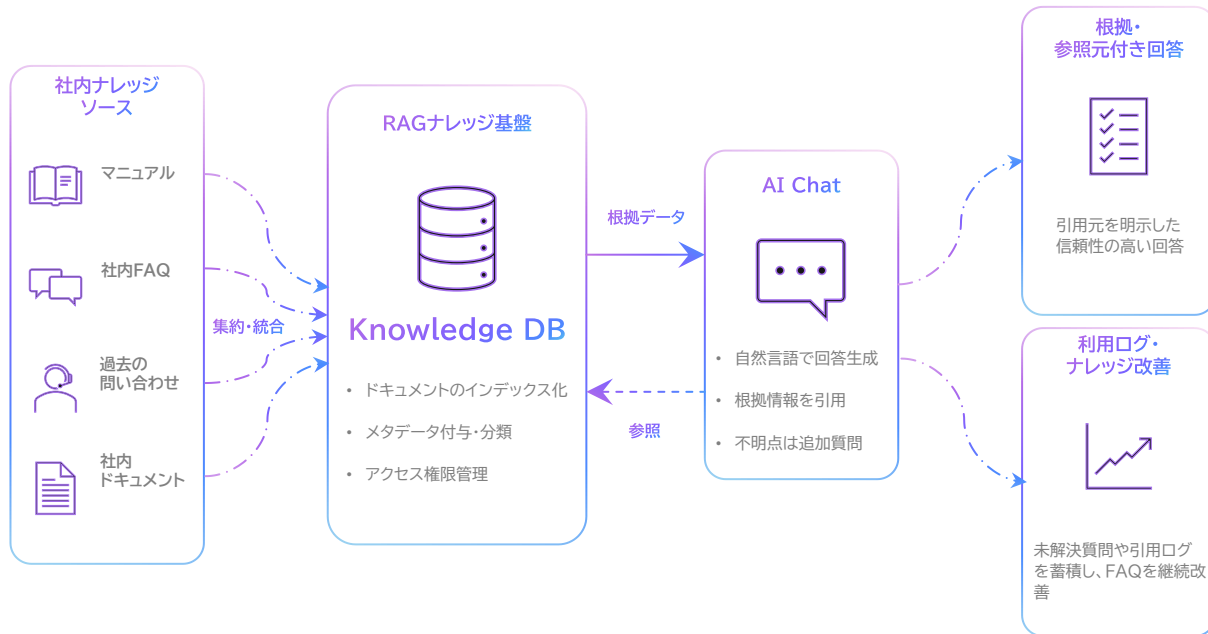
社内ドキュメントの収集・分類と、RAGを活用した検索・回答基盤。関連情報の抽出、自然言語による回答生成、参照元の明示、閲覧権限の制御。



期待される効果

自己解決の促進と、問い合わせ対応の標準化

情報を探す時間と定型的な問い合わせの削減。根拠に基づく回答品質の均一化と、利用ログを活用したナレッジの継続的な改善。



探す・聞く時間を減らし、誰もが根拠ある回答へ素早くたどり着ける業務へ。

Excelとメールを中心とした定型業務を整理し、入力・承認・集計・可視化を一元化するWebアプリの構築を支援します。

分断された業務を、 ひとつの仕組みへ。



よくある課題

複数ファイルと手作業に依存した業務

担当者ごとに管理されるExcelと、メールによるファイルの回収・確認。繰り返し発生する転記・集計作業と、最新版や進捗状況の把握の難しさ。



解決アプローチ

入力・承認・集計をWeb上で一元化

Webフォームによる統一されたデータ入力と、承認・差戻しのワークフロー化。データの一元管理、自動集計、ダッシュボード、通知機能の組み合わせ。



期待される効果

属人化と作業ミスを抑え、業務を標準化

転記・集計・確認作業の削減と、入力漏れや数値の不整合の防止。担当者や進捗、最新データをリアルタイムに確認できる業務環境。

Before

01
Excel入力



各担当がExcelで
データ入力

02
メールで回答



ファイルをメールで
送付・回収

03
手作業で集計・転記



手作業で集計し、
別シートに転記

04
チェック・確認



内容を確認し、
修正・差し戻し

05
不整合・最新版不明



複数ファイルが存在、最新版が不明
各ファイルで不整合が発生

After

01
Webフォーム入力



Web上のフォームから
統一フォーマットで入力

02
承認ワークフロー



申請・承認をワークフローで
標準化・可視化

03
リストで一元管理



データを一元管理し、
常に最新の状態を保持

04
自動集計・処理



自動で集計・計算し、
ミスなく効率化

05
ダッシュボード・通知



ダッシュボードで可視化し、
通知で迅速に対応

転記・集計・確認の手間を減らし、誰もが同じ手順で正確に進められる業務へ。

既存基幹システムの安定稼働を維持しながら、現場業務に必要な機能を周辺から段階的に補完します。

既存システムを活かし、 現場の不便を周辺から。



よくある課題

基幹改修の難しさ、残り続ける手作業

改修費用や影響範囲が大きく、容易に変更できない既存基幹システム。入力・転記・承認・帳票作成など、周辺業務に残るExcelと手作業。



解決アプローチ

必要な機能を、周辺システムとして補完

入力支援、承認ワークフロー、データ連携、帳票出力、監視・通知などの機能を個別に構築。既存基幹システムとの連携を前提とした段階的な機能拡張。



期待される効果

刷新リスクを抑えた、現場業務の改善

大規模なシステム刷新を伴わない、手作業や二重入力の削減。基幹システムの安定稼働を維持しながら進める、費用対効果を見極めた改善。

現場業務補完



入力補助・
データチェック



承認・
差戻しワークフロー



進捗ステータス管理

データ受け渡し



CSV・固定長データ
取込



マスタ照合・
コード変換



一括登録・更新処理

出力・運用支援



帳票・ラベル自動出力



例外処理・エラーログ



バッチ監視・
アラート通知



既存基幹システム
Core System



大規模改修を抑制し、
安定稼働を維持

基幹は残す。周辺から補う。現場業務を着実に変える。

日常的なIT・DX・AI活用の相談窓口として、課題整理、優先順位づけ、方針判断、実行フォローを継続的に支援します。

日々のITの迷いを、 具体的な次の一手へ。



よくある課題

ITに関する判断材料と相談相手の不足

AI活用、ツール選定、業務のシステム化、ベンダー提案など、増え続ける検討テーマ。社内に専門人材がいないことによる、判断や優先順位づけの難しさ。



解決アプローチ

定例相談による、課題と方針の継続的な整理

経営・業務上の課題を起点とした壁打ちと論点整理。対応方針、優先順位、次のアクションの明確化と、ツール・ベンダー選定に対する第三者視点での助言。



期待される効果

IT判断の迅速化と、取り組みの継続的な前進

検討事項の放置や手戻りの抑制と、IT投資に関する判断精度の向上。ロードマップと定期的なフォローによる、着実な施策の実行。



相談バックログ

- 生成AIの社内活用方針
- 業務システム化の優先順位
- ツール・サービスの選定
- ベンダー提案・見積りの評価
- ...

Advisory Cycle



相談
日常の疑問や
検討事項の受付



論点整理
課題・背景・選択肢の可視
化



判断
優先順位と
対応方針の明確化



実行フォロー
進捗確認と
障害・課題への助言

Monthly Rhythm



定例MTG
全体状況の共有と
方向性確認



課題レビュー
相談内容と優先順位の見
直し



ロードマップ更新
計画・マイルストーンの整
理



振り返り
成果と次のアクションの
確認

ITの悩みを抱え込まず、相談から判断・実行まで継続的に前へ。

経営・業務・IT・ベンダーの間に入り、意思決定、進捗・課題管理、関係者調整を通じてプロジェクトを前進させます。

関係者をつなぎ、プロジェクトを前進。



よくある課題

役割と判断基準が曖昧なプロジェクト体制

関係者ごとに異なる認識と優先順位。責任者や意思決定プロセスの曖昧さ、共有されない進捗・課題、増加するベンダーとの調整負荷。



解決アプローチ

推進役としてプロジェクト体制に参画

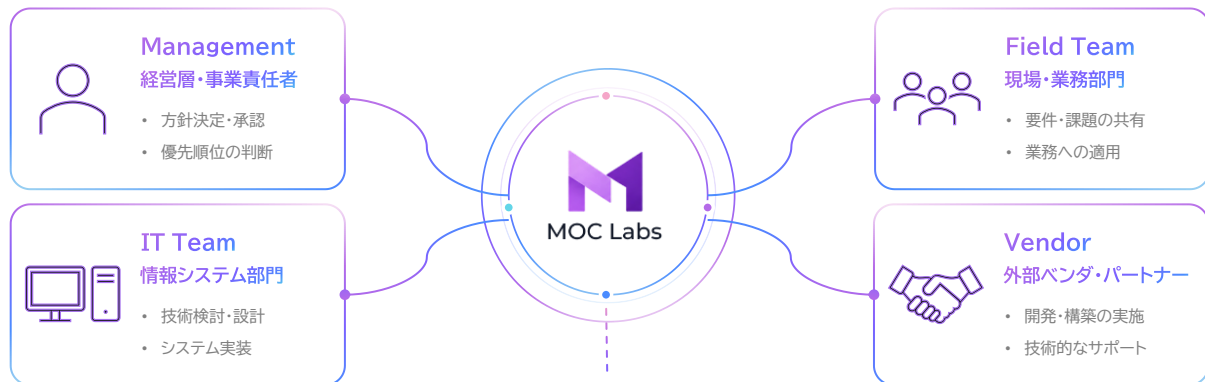
PM・PMOとしてのプロジェクト参画と、要件・論点・課題の可視化。会議体の運営、意思決定支援、進捗・リスク管理、関係者・ベンダー間の調整。



期待される効果

意思決定の迅速化と、プロジェクトの安定推進

認識齟齬や対応漏れ、手戻りの抑制。役割・期限・次のアクションの明確化による、計画から実装・定着までの着実な前進。



01 Define
ゴール・要件整理



- 目的・成果の明確化
- 対象範囲・要件整理

02 Plan
計画・体制設計



- スケジュール具体化
- 役割・会議体整理

03 Align
合意形成・意思決定



- 論点・選択肢可視化
- 関係者の合意形成

04 Drive
進捗・課題管理



- 進捗・課題管理
- 関係者ベンダ間調整

05 Embed
導入・定着支援



- 受入・展開
- 利用定着・効果確認

関係者をつなぎ、判断と実行を前に進めるプロジェクトの推進役に。

大川 雅也

MOC Labs合同会社 代表社員/CEO

IT Consultant / AI & DX Partner

構想で終わらず、
現場で使われる仕組みまで届ける。

ITコンサルティング、業務改善、AI活用、システム開発を横断し、課題整理から要件定義、実装・定着まで一気通貫で支援。大手企業向けのDX推進・業務改善支援で培った知見を活かし、中小企業・成長企業にとって身近なIT相談役・実行パートナーとして価値提供します。



まずは小さなご相談からでも構いません。
貴社の課題感を、ぜひお聞かせください。



Webからのお問い合わせ

こちらをクリックでフォームが開きます



<https://www.moclabs-tech.com/>